社説

宗教に依賴す可し

生産社會の進歩と共に資本と勞力の衝突は到底免かれ難き所にして之が爲めに各種の事業に不測の影響を及ぼし結局世間公衆の迷惑を招くは近頃の日本鐵道會社機關方の同盟罷工に就て見るも甚だ明白なり若しも斯る紛議を避けんとならば傭者たるもの平生より被傭者の貯蓄を奬勵して之を事業に投ぜしめ利益の分配に與らしむるが如き方法を實行し彼等をして事業の盛衰に對して直接に自分の利害を覺えしむるの外に適當の手段なきは我輩の既に述べたる所なり假りに被傭者の日給の内より毎日二錢を引去りて貯蓄に充てんには一月にして六十錢一年にして七圓三十錢に達す可し之を傭者が安全に保管し複利法を以て利殖を謀るときは數年にして多少の資本を成し一二株の株主と爲るは決して難きに非ず一旦株主と爲れば被傭者は在來の日給取りと異なり事業にして繁昌すれば普通の配當の外に割増金をも得らるゝを以て一時の不平に驅られて妄りに同盟罷工を企つるなど輕々しき擧動に出でざるを以て自から生産社會に資本と勞力との調和を見るを得べし經濟上より同盟罷工を未發に防ぐ妙法にして其効用は歐洲諸國の實驗に依て甚だ明白なれば我國に於ても事業家が續々みの方法を利用して前途の困難を豫防するこそ目前の急務なれども更らに一歩を進めて考ふれば單に金錢上の關係のみにては尚ほ足らざるものあるが如し從來我國に於て傭者と被傭者との關係常に圓滑なるを得たるは多年の習慣、無形の間に情誼の存するものあるが爲めにして此美風の永續を謀らんには經濟上の關係を密接ならしむる他の一方には宗教の力を利用して自然に被傭者の氣風を和らげ其殺伐に流るゝを制するこそ肝要の手段なる可し我輩の所見を以てすれば大工場大會社の如き多數の職工勞働者を使役するものは差し當り月に二回なり三回なり時を定めて僧侶を招き被傭者を集めて法話說教を聞かしめんには其効果は直に顯はれざるも多數の内には自から佛教の信者となりて教法に感化せられ次第に粗暴の惡風を脫するに至る可し之が爲めに被傭者に休業の時日を與へ又は金錢を要するとするも固より些少の事にして永遠の利益を思はんには殆んど愛しむに足らず或は今の佛教僧侶の實際を見れば內行修まらずして宗徒を敎訓するは愚か却て他の說諭を要するが如きものも少なからざれども是れは世間にて一時彼等を擯斥し無用の長物視したる其反動として彼等に自暴自棄の念を懷かしめたる結果に外ならざれば若しも彼等を尊敬して布教の道を與へんには自然に自重心を生じて醒悟めしも難ならざるに至る可きは疑を容れざる所なり世間動もすれば法律を以て被傭者の暴動を嚴重に制限し之に反きたる者には容赦なく制裁を加へて同盟罷工の如き惡風を抑制するを得べしと唱ふる者あれども斯る筆法を以て被傭者に對するときは却て其感情を害し傭者との衝突を激成するに過ぎざるのみ双方の衝突非常の極端に渉り血を見ざれば止まざるなどの例は西洋諸國に毎度見る所にして斯の如きは全く双方の間に情誼の消滅したる爲めなれば我國の傭者も鑑と此邊の成行を考へ此際大に宗教に依賴して被傭者との間に情誼の永續を謀り生産社會の調和を求む可し我輩の切に勸告する所なり

電報

（時事新報北京特電）

○露淸交渉の將來●●●●●●

北京三月十六日午前十一時杉特派員發十七日午後三時十五分本社着

清國の軍機大臣等は清帝に對し露國若し暴力を以て其要求する所を貫徹せんとせば如何にして之に應ずべきやと伺ひ出でたるに清帝は事若し是に至れば奈何ともするなし唯成る可く讓與を少くせんことを務む可きのみと內勅したりといふ此の如き有樣なれば結局滿洲橫貫鐵道の敷設と大連灣の貸讓とを容れて旅順口丈けは保持する事と爲るべし

○日淸の關係一變

同上

清國の君臣は一般に日本に依賴するの念を懷けり

○高岡米穀取引所の休業

高岡三月十七日午前特發

當地期米は帳簿整理の爲め昨日本日とも臨時休業す

○市長以下の增給

佐賀三月十七日午後特發

市會の決議にて來る四月より市長以下の年俸を增すことゝなりたり

○艦隊小演習

佐世保三月十六日午後特發

本日より二週間當港近海にて艦隊小演習あり

○德島の地震

德島三月十六日午後特發

昨夜八時當地に地震ありて可なり强かりし

○札幌の積雪

札幌三月十七日午前特發

連日降雪六尺餘積れり

○取消　本月十六日發行本紙の電報欄內に收賄嫌疑者の拘引と題する一項は事實相違の旨桑原政氏より申越ありたれば同項を取消す

○正誤　本月十六日電報欄內選擧運動者殺害さると題する一項は事實相違の旨岡山縣警察部より申越ありたるに付き正誤す

○北京特報（二月廿二日）

特派員　杉　幾太郎

英國要求事件

去月以來英淸兩國間に商議中なりし條約は既に發電し置きたる如く昨日を以て愈々諸事決着し英國は之が爲めに左の利益を得たり

一湖南岳州の開放

一內河及び湖水に汽船を通航せしむるのと

其外に英國は楊子江一帶地をば他の何國にも讓與せざる旨を淸國政府に誓約せしめん事を要求し遂に是れ亦承諾せしめたり公債問題の不調に關せず其要求せる所を遂行せんと公言したる英國が一々其要求に對し滿足なる結果を得たるは同公使マクドナルド氏の功勞實に少なからず湖南の地は元來物產に富み且つ淸國の中央に位し楊子江に沿ふて水流縱橫に通じ土地肥沃にして所謂湖廣熟す天下足るもの即ち是れなり此地方の人民慓悍にして非外人の思想甚だ盛なれば淸國政府も從來其開放を他國に許すを欲せざりしなりと云ふ初め英國政府の要求したるは湘潭の地にして嘗て馬關條約の際我が日本が要求したると同一地なりしも淸國政府は之に代ふるに岳州を以てしたるなり是れ內地に入れば隨て人民の頑愚愈々甚しきを恐れて然るものならんか其開放は今後二箇年間に行ふべしと云ふにあり第二河湖に汽船航行の一事は是れ千八百六十年英淸間に交換せし通商條約の第十四項に汽船をも通航せしめ得るの數語を添加せし者にて其結果たるや自國を利する所實に大なる者あるべし

露艦尙は旅順口を去らず

淸國に於ける幾多の外交事件は大抵其局を結び目下尙は殘れるは旅順口の一あるのみ而して露國が今後果して旅順口を去るや否やは目下東洋外交上の大問題なりとす淸國政府も嘗て他國に向て露艦に繫泊を許したるは全く冬季の間のみと公言したるに浦鹽港の解氷も近きにあらんとし露艦は容易に退去すべき氣色なきより目下露京駐箚の公使楊儒氏は政府の命を受けて露國政府に其艦隊の退去をる由なれども露國の之に對する返答は頗る曖昧にして兎や角と言を左右に其出港を肯ぜざるのみならず却て露氏に告げて露艦の旅順にあるは唯に淸の爲めのみならず又別に他の一國をるの効ありと述べたりと云ふ

○古社寺保存委員會

內務省に日午前十時より古社寺保存委員會を開社寺局長及び各委員出席し特別保護建幷に特別保護建造物修理の件に付き補附の協議を爲したるよし

○內務書記官の任命

昨日左の命ありたり

貴族院書記官　坂本
任內務書記官（高等官五等）

○犯罪の美術（四）

醒峰

部屋の片隅、ほの暗き邊に、潛に佇みるは、彼のきしなり。きしは、箕村にれて、今は是非なくも、

『れ嬢さま、奥さまが、御夕飯は如何にますって、伺しやいます。』と獨りなり。

『ア、左樣かい、直ぐ其方へ參りますとさう云つてお吳れ。』

『ハイ』ときしは、答へ終して出で行く跡に箕村は、『那れは何。』と問ふにぞ、つゆ子は事の次第を語りとの、代はりに、暫時が程とて、傭ひるものなる由を告ぐ。之を聞きて箕村とゝも聞ゆる高聲に、

『ヘヱー、恐ろしい物靜な、良い婢だり靜で以つて、何時入つて來たか、知つたから、大に驚いた。つゆさん、御頂戴に行かうぢやないか。それでの事にしやう。實はそれは、明後日頃て貰へば、宜い事なのだから。』

斯くて、食事も果てつ。その夜は、新目新しき外國人の手品ありと云へば、つゆ子を初め、母、妹を伴ひ、四人連見物にとて出で行きぬ。その往復、東べき道程にもあらねば、寒き夜風を冒ぎつゝ、女も皆步みて從へり。自ら子と、つゆ子は箕村と、相引き添ひてれば、その間に箕村は、その語らんとところ、概略はつゆ子に語り盡せり。再び、村瀨の宅に歸りて、更に自己が就くに臨み、箕村は、

『僕は少し用があるから、二日ばかりが、出來ないかも知れない。それ迄けさん、今の話は、何うか宜い樣に、才も、何かは知らず、謎の如くに云ひ遣りにき。之を竊聞したるきしは、翌る頃早くも、箕村の客間に來りてあるにされたり。それのみならず不思議にも姉妹を伴ひ、箕村のみを殘して、所用